



いわて医療通信 糖尿病網膜症

糖尿病と目の関係を 知っていますか？

糖尿病は高血糖になり

糖尿病網膜症は主に3段

糖尿病網膜症は自分では

やすい病気です。高血糖だからといってすぐ体の不調が起こるわけではありませんが、高血糖が続くと全身の血管が傷ついていきます。特にダメージを受

けやすいのは細い血管です。目、腎臓、神経は特に細い血管であるため、影響を受けやすい場所になります。目の、特に網膜の血管が障害されるものを糖尿病網膜症といいます。糖尿病網膜症は糖尿病の発症から10年以上かけてだんだんと進んでいきます。

初期、中期では自覚症状はほとんどありませんが、網膜の中心にむくみがあると視力が下がったり、ゆがみなどの症状が出てきます。後期では新生血管という脆い血管ができてきて硝子体の出血や網膜剥離が起き、失明に至ることもあります。

気づきにくく、いつから起こっていたかわからないことも多いです。気付かないうちに、じわじわ網膜血管がむしばまれ、ある日突然に見にくくなり、見え方が戻らない事もあります。そのような状態を防ぐためにも、糖尿病を指摘された方は、眼科で眼底検査を受けてください。また一回受診して、網膜症がなかったから大丈夫というわけではありません。徐々に糖尿病網膜症が起こってくるものとがありますので定期的な通院が必要になります。

眼科 池田千花